

昭和二十年三月二十六日

内閣書記官長

内閣書記官

内閣總理大臣

法制局長官

外務大臣

海軍大臣

大東亞大臣

石渡國務大臣

内務大臣

司法大臣

農商大臣

町田國務大臣

大藏大臣

文部大臣

軍需大臣

緒方國務大臣

陸軍大臣

厚生大臣

運輸通信大臣

別紙内務大臣請議昭和十二年勅令第五百九十五號
臨時資金調整法ヲ臺灣ニ施行スルニ付改正件

昭和二十年三月二十六日

ヲ審査スルニ右ハ相當ノ儀ト思考ス依テ請議ノ通
閣議決定セラレ可然ト認ム

勅令案

呈案附箋ノ通

(起案用紙青三ノ一號)

主任者 管理局橋爪總務課長

内務省發管第一八號

昭和十二年勅令第五百九十五號臨時資金調整

法ヲ臺灣ニ施行スルノ件中改正ノ件

臨時資金調整法中改正ノ爲昭和十二年勅令第五百九十五號中改正ノ

必要ヲ認ム仍テ別紙勅令案ヲ提出ス

右閣議ヲ請フ

昭和二十年三月二十三日

内務大臣 大 達 茂

雄

内閣總理大臣 小 磯 國 昭 殿

内甲三

内務省

規格 B 4

朕昭和十二年勅令第五百九十五號臨時資金調整法ヲ臺灣ニ施行ス
ルノ件中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

昭和二十年三月三十日

内閣總理大臣

内務大臣

勅令第百八十七號

昭和十二年勅令第五百九十五號中左ノ通改正ス

第二條中「同法第十條ノ八中法人税法ニ依ル所得トアルハ臺灣所得稅令ニ依ル第一種ノ所得トシ」ノ下ニ「同法第十條ノ十二中法人税法トアルハ臺灣所得稅令トシ臨時利得稅法トアルハ臺灣臨時利得稅令トシ法人稅トアルハ臺灣利得稅令トシ」ヲ加フ

第二條ノ二 臺灣ニ於テハ臨時資金調整法第十條ノ十二第六項ノ規定ニ拘ラズ資金吸收特別方策委員會ハ之ヲ置カス

規格 B4

附則

本令ハ昭和二十年四月ヲ施行ス

昭和十二年勅令第五百九十五號中左ノ通改正ス

第二條中「同法第十條ノ八中法人税法ニ依ル所得トアルハ臺灣所得税令ニ依ル第一種ノ所得トシ」ノ下ニ「同法第十條ノ十二中法人税法トアルハ臺灣所得税令トシ臨時利得税法トアルハ臺灣臨時
第一種所得税トシ法人税法ニ依ル所得トアルハ臺灣所得税令ニ依ル第一種ノ所得トシ」ヲ加フ

第二條ノ二 臺灣ニ於テハ臨時資金調整法第十、條ノ十二第六項

ノ規定ニ拘ラズ資金吸收特別方策委員會ハ之ヲ置カス

規格 B4

附則

十年四月十日ヨリ之ヲ施行ス

内務省

規格 B 4

理由

臨時資金調整法中改正二件と改正ノ要アルニ依ル

臨時資金調整法中改正法律案

昭和二十年三月
法律第八號

總理大臣
藏大臣副署

内務省

規格 B 4

臨時資金調整法中左ノ通改正ス

第六條第一項中「五十億圓」ヲ「百億圓」ニ改ム

第七條ノ三 日本勸業銀行法第三十一條ノ四但書ノ規定ハ之ヲ適用セズ

第十條ノ五第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

第一項ニ規定スル債券ガ社債ナル場合ニ於テハ商法第三百六條第二項ノ規定ニ拘ラズ勅令
ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第十條ノ六中「前條第一項ニ規定スル證券」ノ下ニ「竝ニ第十條ノ十二第一項ニ規定スル證券」
ヲ加フ

第十條ノ十二 政府ハ資金ノ吸收ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ命
令ノ定ムル法人ヲシテ賣得金ノ中ヨリ抽籤ヲ以テ購買者ニ當籤金ヲ交付スルコトヲ得ル證

票ヲ發賣セシムルコトヲ得

前項ニ規定スル證票ヲ發賣スル法人ハ命令ノ定ムル所ニ依リ前項ノ賣得金ヨリ前項ノ當籤金及命令ノ定ムル經費ヲ控除シタル殘額ニ相當スル金額ヲ政府ニ納付スベシ

第一項ニ規定スル證票ヲ發賣スル法人ガ法人税法、營業税法及臨時利得税法ニ依リ法人税、營業税及臨時利得税ヲ課セラルベキモノナルトキハ法人税法ニ依ル所得、營業税法ニ依ル純益及臨時利得税法ニ依ル利益ノ計算ニ付テハ第一項ノ賣得金ハ當該法人ノ總益金ヨリ、

第一項ノ當籤金並ニ前項ノ經費及納付金ハ當該法人ノ總損金ヨリ之ヲ控除ス

第一項ノ當籤金ノ債權ハ一年間之ヲ行ハザルトキハ時効ニ因リテ消滅ス

政府ハ必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ第一項ニ規定スル證票ニ關シ之ヲ發賣スル法人ヨリ報告ヲ徴シ又ハ帳簿其ノ他ノ檢査ヲ爲スコトヲ得

第一項ニ規定スル證票ニ關シ重要ナル事項ヲ調査審議スル爲資金吸收特別方策委員會ヲ置

ク

資金吸收特別方策委員會ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十條ノ十三 國民貯蓄増強施策ノ圓滑ナル運営ヲ圖ル爲都道府縣及市町村ニ國民貯蓄運営

委員會ヲ置クコトヲ得

國民貯蓄運営委員會ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十四條ノ五中「及第十條ノ五第一項ニ規定スル證券ニハ」ヲ「第十條ノ五第一項ニ規定スル證券及第十條ノ十二第一項ニ規定スル證票ニハ」ニ改ム

第十四條ノ六 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ命令ノ定ムル所ニ依リ有價證券移轉税

ヲ課セズ

一 第十條ノ三ノ規定ニ基ク貯蓄ニ關シ國債證券其ノ他ノ有價證券ノ移轉アリタルトキ

二 第十條ノ五第一項、第十條ノ七、第十四條第二項又ハ第十四條ノ三第二項ノ割増金ノ支

拂ニ關シ國債證券其ノ他ノ有價證券ノ移轉アリタルトキ

三 第十條ノ十二第一項ノ當籤金ノ支拂ニ關シ國債證券其ノ他ノ有價證券ノ移轉アリタル

トキ

第十八條第五號及第十八條ノ二中「第十六條」ノ上ニ「第十條ノ十二第五項又ハ」ヲ加フ

附 則

本法施行ノ期日ハ各規定ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム

参照

●昭和十二年勅令第五百九十五號
(臨時資金調整法ヲ臺灣ニ施行
スルノ件)

昭和十二年十月十五日
勅令第五百九十五號

改正 昭和十四年第三二號、一七年第三六四號、一八年第七二三號
於臨時資金調整法ヲ臺灣ニ施行スルノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 臨時資金調整法ハ第五條乃至第七條、第十一條乃至第十五條ノ規
定ヲ除クノ外之ヲ臺灣ニ施行ス

第二條 臨時資金調整法第二條中銀行、信託會社、保險會社、農林中央金
庫、商工組合中央金庫、戰時金融庫、道府縣農業會及北海道府縣區
域トスル信用組合聯合會トアルハ銀行、保險會社、臺灣拓殖株式會社及臺灣產業金庫トシ同法第十條ノ八中法
シ同法第二十條中當該官吏、委員、第五條第一項若ハ企業整備資金措置法第十五條第一項ノ事務ニ從事スル日
職員トアルハ當該官吏トス

第三條 臨時資金調整法施行令第三條第二項、第四條第二項、第五條第二
項、第六條第二項、第六條ノ三第二項、第七條、第八條及第十一條ノ規
定ハ之ヲ適用セズ

第四條 臨時資金調整法施行令中主務大臣、同令第九條中大藏大臣及南
大臣、同令第九條ノ二中大藏大臣トアルハ臺灣總督トシ同令第六條ノ三
第一項中北海道、府縣、府縣聯合、市町村、市町村組合、町村組合、市
町村內ノ區、市町村學校組合、町村學校組合及學區トアルハ州廳、市街
庄、市街庄組合及街庄組合トス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

拂ニ關シ國債證券其ノ他ノ有價證券ノ移轉アリタルトキ

三 第十條ノ十二第一項ノ當籤金ノ支拂ニ關シ國債證券其ノ他ノ有價證券ノ移轉アリタル

トキ

第十八條第五號及第十八條ノ二中「第十六條」ノ上ニ「第十條ノ十二第五項又ハ」ヲ加フ

附 則

本法施行ノ期日ハ各規定ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム

● 昭和十二年勅令第五百九十五號

(臨時資金調整法ヲ臺灣ニ施行スルノ件)

スルノ件)

昭和十二年十月十五日
勅令第五百九十五號

改正 昭和十四年第三三號、一七年第三六四號、一八年第七二三號

朕臨時資金調整法ヲ臺灣ニ施行スルノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

(總理、拓務
大臣副署)

第一條 臨時資金調整法ハ第五條乃至第七條、第十一條乃至第十五條ノ規定ヲ除クノ外之ヲ臺灣ニ施行ス

第二條 臨時資金調整法第二條中銀行、信託會社、保險會社、農林中央金庫、商工組合中央金庫、戰時金融庫、道府縣農業會及北海道府縣ノ區入税法ニ依ル所得トアルハ臺灣所得稅令ニ依ル第一種ノ所得ト

本銀行職員トアルハ當該官吏、同法トアルハ企業整備資金措置法

職員トアルハ當該官吏トス

第三條 臨時資金調整法施行令第三條第二項、第四條第二項、第五條第二項、第六條第二項、第六條ノ三第二項、第七條、第八條及第十一條ノ規定ハ之ヲ適用セズ

第四條 臨時資金調整法施行令中主務大臣、同令第九條中大藏大臣及南大臣、同令第九條ノ三中大臣、同令第九條ノ四中大臣、同令第六條ノ三第一項中北海道、府縣、府縣組合、市町村、市町村組合、町村組合、市町村內ノ區、市町村學校組合、町村學校組合及學區トアルハ州廳、市街庄、市街庄組合及街庄組合トス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス